

質問

# 有害鳥獣駆除の強化と対策は



土屋 武雄 議員

## 町長 削減されている補助金を、国や県に対して強く要望する

**質問** 町で許可捕獲を実施しているが、その報償金を狩猟期を外さず通年にできないか。

**町長** 現在、松江市、安来市、雲南市、飯南町では実施していないが、出雲市の一部でニホンジカについては認めている。

現時点では近隣市町と同様に、報償金を通年実施する予定はない。例外として、サル、カラスについては一部対象とする。

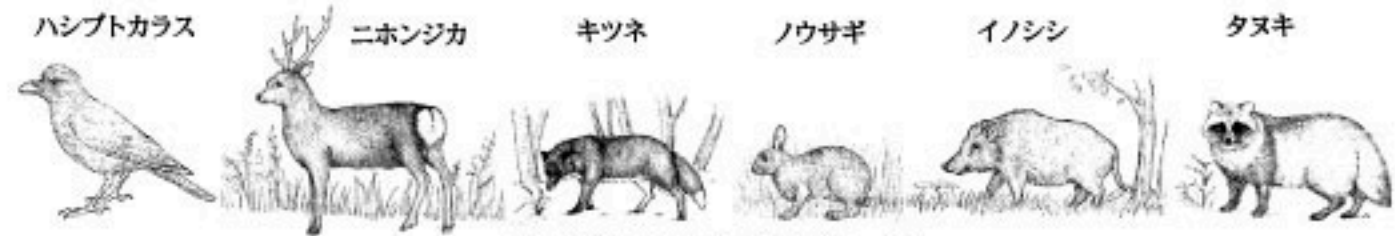
**質問** 被害程度に応じて毎年度捕獲報償金の見直し、特にイノシシ等の値上げをすることについてどう考えるか。

**町長** ニホンジカは雲南市、飯南町より高い2万円、イノシシは雲南市と同額の

2万円で、飯南町より高い単価だ。その他は両市町と同額であり、見直しは考えていない。

**質問** ワナの探知機、箱ワナ等を購入し、要望者に支給して一層の駆除の促進を図れないか。

**町長** 奥出雲町単独事業や多面的機能交付金、中山間直払い交付金等で、電気柵ワイヤメッシュを設置し被害防止しているが、さらに進めることが重要であり、国からの補助金が削減されているので、今後も国、県に捕獲予算を強く要望する。



駆除の促進を図りたい対象鳥獣の一部

### 畜産振興の対策について

**質問** 満70歳以上の高齢飼育者に、もっと頑張ろう報償を、満40歳以下の担い手に飼育投資支援を手当てできないか。

**町長** 和牛改良の取り組みや、仁多牛ブランドの確立、地域循環型農業推進に高齢飼育者の貢献は大きい。

報償支援については、他県や市町の状況を調査研究する考えだ。

担い手支援も、現有的の支援事業のほか、県のがんばる事業を活用して支援する。

**質問** クラスター事業の支援要望はどうなっているか。

**農業振興課長** クラスター事業要望内訳

は、町内畜産農家、酪農家を合わせ、施設整備が26名、機械整備が25名、両方希望が17名、合計68名である。



鳥根県の基幹種雄牛候補の「美弥桜」と「本忠福」(写真提供 鳥根県)